

第 1 学年道徳指導案

平成 17 年 10 月 28 日 (金) 1 校時

1 年 3 組 (男 14 名 女 12 名 計 26 名)

指導者 三浦 正江

1 主題名 いきものにやさしく (3-②) 自然愛、動植物愛護)

2 資料名 ごめんね、みなみ (出典 学研)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

第 1 学年及び第 2 学年の内容項目 3-②は、「自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。」となっている。自然や動植物とのかかわりに関するものであり、自然や動植物を愛し大切にすることを育てようとする内容項目である。主に、第 3 学年及び第 4 学年では、3-①「自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。」に発展し、第 5 学年及び第 6 学年では、3-①「自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。」に発展していく。

人間は、自然との調和を図りながら暮らしてきた。自然に親しみ、自然と一体になりながら動植物を愛護し、豊かな情操を育ててきたのである。しかし、自然環境の悪化に伴って、自然に親しむ体験の不足が、自然の素晴らしさやその生命の尊さを感じる感性を鈍化させている。そのため、自然や動植物を愛し、命や自然環境を大切にしようとする態度は、特に身につけなければならないものであると考える。

この時期の児童は、身近な生き物や自然に興味を示し、愛着をもって接することができる。しかし、動植物に対しては、命あるものとしての認識がまだ十分ではなく、世話を怠ったり、残虐な行動にでたりすることもある。そこで、特に身近な自然の中で遊ぶことや、動植物の飼育栽培を経験するなど、自然や動植物と直接触れ合うことを通して、それに対する優しい心を育むことが大切であると考えられる。

(2) 児童について

本学級の児童は、今までに、「いきものってかわいいね」の資料において身近な生き物の気持ちを考えることの大切さについて学び、生き物に優しくしていこうとする気持ちが育ってきている。生活科においては、あさがおや花壇の花などを育てたり、虫探しをしたりして身近な自然に親しみ、動植物と接する活動をしてきている。また、動物公園への遠足では、うさぎとひよこの抱っこや、やぎやあひるの餌やりを体験したり、普段目にすることの少ない動物を見たりする活動の中で、喜んで動物に親しむことができた。

しかし、家で植物を育てたり、虫やペットなどを飼育したりする経験が乏しい児童も多く、虫探しで見つけた虫を乱暴に触ったり、小さい蟻を踏みつけたりする児童もみられる。また、動植物に興味・関心を示さない児童もいる。これらのことから必ずしも生き物を大切にすることを十分だとは言いえない。

そこで、本学習を通して、動植物のことを考え、優しい気持ちをもって接していこうとする気持ちを育てていきたい。

(3) 資料について

本資料は、動物園の人気者のきりんが、みんなが何気なく捨てていったゴミによって死んでしまい、児童が悲しむという話である。

人間の軽率な行為が、動物を死に至らせることもあるということを理解させる資料である。また、身近な動植物と触れ合っていくときの責任ある態度やそれらを愛する優しい心を育てていくのに適した資料である。

(4) 授業の構想について

本時は、「気づく」段階で、動物公園で動物と触れあった遠足での体験を想起し、生き物について考えるきっかけにしたい。うさぎやひよこを抱っこしている様子をビデオで視聴したり、遠足後に描いた動物の絵を見たりすることで、楽しかった思い出や体験したことを振り返らせ、動物への親しみの気持ちをもたせたい。

また、「まとめる」段階で、身近な動物を扱う立場である地域の動物病院の先生をゲストティーチャーとして招き、動物を思いやる気持ちや人間が動物に対してどう接していけばよいのかということについて話していただく。そうすることで児童によりいっそう動物に対し、優しく接していこうとする気持ちをもたせたい。

4 全教育活動における本時の位置づけ

<教科・総合的な学習の時間>

生活「がっこうたんけん」【5月】
学校の周りの自然や施設、人々に関心を持ち親しむ。

生活「はないっぱいになあれ」【5月】
生き物に触れたり育てたりして愛着をもつ。

生活「くさばなあそび」【6月】
「いきものさがし」
「くさばなのせわ」
身近な虫などに触れ自然に親しむ。

図工「動物園の思い出」【10月】
動物たちとの思い出を楽しく絵に表す。

生活「あきのあそび」【10月】
「くさばなのせわ」
秋の遊び場や公園での遊びや人、草木、虫などの関わりを通して、季節の変化を体感する。

<道徳の時間>

自然愛、動植物愛護

主題名 たいせつな いのち【6月】
3-(2) 生命尊重
資料名 しぜんのいのち
ねらい 草花や生き物を生き生きと写しだした写真を通して、生きているすべてに尊い命があることを知り、それらを大切にす気持を育てる。

主題名 かわいいいきもの【7月】
3-(1) 自然愛、動植物愛護
資料名 いきものって かわいいね
ねらい 写真を手がかりに、自分の体験を思い起こすことを通して動植物に親しみ、優しい心で接しようとする気持ちを育てる。

主題名 いのちをまもりそだてる【9月】
3-(2) 生命尊重
資料名 ハムスターのあちゃん
ねらい ハムスターの誕生や成長の様子をつかませることを通して、身近な生き物の命を大切にしようとする気持ちを育てる。

本時
主題名 いきものにやさしく【10月】
3-(1) 自然愛、動植物愛護
資料名 ごめんね、みなみ
ねらい 人間の軽率な行動で死んだきりんのみなみの死について考えることを通して、身近な生き物を大切にしようとする気持ちを育てる。

主題名 かけがえのないいのち【11月】
3-(2) 生命尊重
資料名 ナイチンゲール
ねらい 必死で看病し、犬を助けたナイチンゲールの姿を通して、すべての動植物に命があることに気づかせ、自分の命を大切にしようとする気持ちを育てる。

3-(1) 自然愛、動植物愛護
身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。

<特別活動・日常生活>

【5月～9月】
あさがおの世話
花壇で育てている花の世話や植物を育てる活動を通して、植物も自分たちと同じように生命をもっていることを感じ取り親しみをもって世話をする。

【7月～3月】
係活動（飼育係）
生き物を飼い、親しみをもって育てる。

【9月】
遠足
動物公園の生き物を観察したり動物と触れ合ったりして親しむ。

<子どもの意識>

・校庭には、いろんな木や草が生えている。

・みんな生きているんだね。

・自分で育てて花を咲かせたい。

・人間も動物も虫も花も同じように生きている。
・生き物は、優しくされると喜んでいる。
・生き物に優しく接していこう。
・木や草むら、石の下などいろいろなところに虫はいるな。

・つかまえてお世話をしてみたいな。

・いろいろな動物がいる。
・うさぎやひよこを抱っこしてみるとかわいいな。
・やぎやあひるに餌をやるのは楽しいな。
・お母さんは大事に赤ちゃんを育てているな。
・がんばって、大きくなってね。

・知らずに生き物を苦しめていることがあったんだ。

・生き物の気持ちを考えながら接していきたい。

・春や夏に比べて、草木や虫の様子が変わったな。

5、本時

(1) ねらい 人間の軽率な行動で死んだきりんのみなみの死について考えることを通して、身近な生き物を大切にしようとする気持ちを育てる。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の発言や心の動き	指導上の留意点や支援
気づく 5分	<p>1 動物公園のビデオを見て話し合う。</p> <p>○動物公園でうさぎやひよこを抱っこしましたね。その時、どんな感じがしましたか。</p> <p>2 資料「ごめんね、みなみ」を読み、感想を発表し学習のねらいをもつ。</p> <p>○みなみのことをどう思いましたか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>みなみが死んで子どもたちはどんなことを思ったでしょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・かわいいと思った。 ・気持ちよかった。 ・ふわふわしていた。 ・あたたかかった。 ・死んでしまっかわいそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足のビデオや遠足後に描いた動物の絵を見せながら、動物公園で見たり触れたりしたことを思い起こさせ、生きている動物の様子を想起させる。 ・動物公園で見てきたきりんの写真を見せ、資料に関心をもたせ、感想をもとに課題をたてる。
深める 25分	<p>3 みなみに対する「子どもたち」の気持ちについて話し合う。</p> <p>○動物園の人気者のみなみを子どもたちはどんな気持ちで見ているのでしょうか。</p> <p>○ニュースでみなみが死んだことを知った子どもたちはどんなことを思いましたか。</p> <p>◎「おなかからビニールのかたまりが見つかりました。」という園長さんの説明を聞いて、子どもたちはどんなことを思ったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きいな。 ・かわいいな。 ・赤ちゃんがうまれるのが楽しみだな。 ・突然死んでしまってびっくりした。 ・どうして死んでしまったの。 ・大好きだったみなみが死んで悲しかった。 ・おなかに赤ちゃんがいたのにかわいそう。 ・ビニール袋を食べて死ぬなんて知らなかった。 ・おなかの赤ちゃんも一緒に死んでしまっかわいそう。 ・苦しかったね。 ・みんなのせいで死んでしまった。ごめんね。 ・これからはごみを捨てないようにするよ。 ・もっと生き物のことを考えていればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵を見せたり、遠足で見てきたことを想起させたりしながら、動物園の人気者であるみなみに親しみをもつ子どもたちの気持ちに共感させる。 ・みなみの苦しんでもがいた傷の状態を押さえ、死を驚き、悲しむ子どもたちの心情を十分にとらえさせる。 ・実際に3kgのごみの入ったビニール袋を見せ、人間が何気なく捨てていった行動がみなみを死に至らしめてしまったことをつかませる。また、児童一人一人に、死んだみなみに伝えたいことをプリントに書かせることで生き物の立場に立って行動することの大切さに気づかせる。
見つける 5分	<p>4 今までの自分を振り返る。</p> <p>○これから、自分の周りの生き物をどんな気持ちでお世話をしていこうと思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットのお世話をしっかりとやる。 ・ペットを捨てない。 ・飼っている虫のお世話を忘れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生き物に目を向けさせ、生き物に優しく接していこうとする気持ちをもたせたい。

<p>ま と め る</p> <p>10 分</p>	<p>5 まとめをする。</p> <p>○動物病院の先生が、どんなことを思いながら動物達のお世話をしているのか聞きましょう。</p>	<p>・これからは、生き物に優しくしていくよ。</p>	<p>・身近な動物の治療に関わる人の話を聞くことで、ただ可愛がるだけではなく、生き物のことをよく考えて接していこうという気持ちをもたせ、今後の意欲化を図りたい。</p>
--	--	-----------------------------	--

6、板書計画

ごどもたち

ごめんね、みなみ

しんでしまっただわわいそう。

みなみ

めす ろくさい

やさしい め

にんきもの

もうすぐ あかちゃん

絵 (きりん)

絵

(ごどもたち)

おおきいな。
かわいいな。
あかちゃんが
たのしみ。

しんでいた。

たくさんのきず

くるしんで もがいていた。

- おなかから
3キログラムの
ビニールのかたまり
- みんながなげたり
すてていたりした
もの

- かなしい。
- かわいそう。
- びっくりした。
- くるしかつたでしょう。
- どうして。

絵

絵

(ごどもたち)

いきものごやせしぐ

- せわをしつかりど。
- ペットはすてない。
- たいせつにかう。

ごめんね、みなみ

- ビニールをたべてしぬな
んてしらなかった。
- みんなのせい。
- よくかんがえればよかつ
た。
- あかちゃん、かわいそう。
くるしかったでしょう。
- もう、ごみはすてないよ。